

1. 件名：福島第一原子力発電所3号機燃料デブリ冷却状況の確認試験に係る面談
2. 日時：令和2年2月20日（木）15時30分～16時10分
3. 場所：原子力規制庁 9階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、知見主任安全審査官、田上係員

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当2名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社から、福島第一原子力発電所3号機における燃料デブリ冷却状況の確認試験について、資料に基づき以下の説明を受けた。

➤ 試験目的

- ✓ 緊急時対応手順の適正化を図ること等を目的に、注水停止試験を行い、気中への放熱も考慮したより実態に近い温度変化の評価（熱バランス評価）の正確さを確認する。

➤ 試験概要及び結果の速報

- ✓ 本年2月3日～5日に3号機の原子炉注水を約48時間停止。
- ✓ 原子炉圧力容器（RPV）底部温度や原子炉格納容器（PCV）温度は概ね想定範囲内で推移した。
- ✓ ダスト濃度、希ガス（Xe-135）濃度等のパラメータに有意な変動はなかった。
- ✓ RPV底部温度、PCV温度等の推移データ

➤ 今後について

- ✓ 実際の温度上昇と予測との差異、温度計の挙動の違い、PCV水位の変動等を評価予定。
- ✓ 緊急時対応手順等への反映を検討するとともに、更なるデータを取得するための試験の計画も検討予定。

○原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、今回の試験データの評価ができ次第、説明することを求めた。

6. その他

資料：3号機燃料デブリ冷却状況の確認試験の結果（速報）について